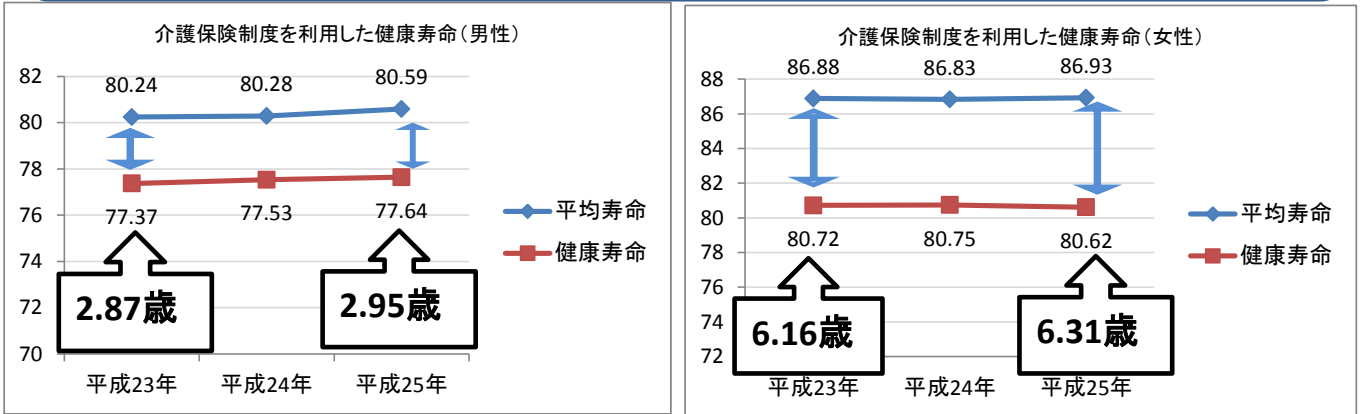


# 計画名：第2次いきいき瀬戸21 健康日本21瀬戸市計画 中間評価

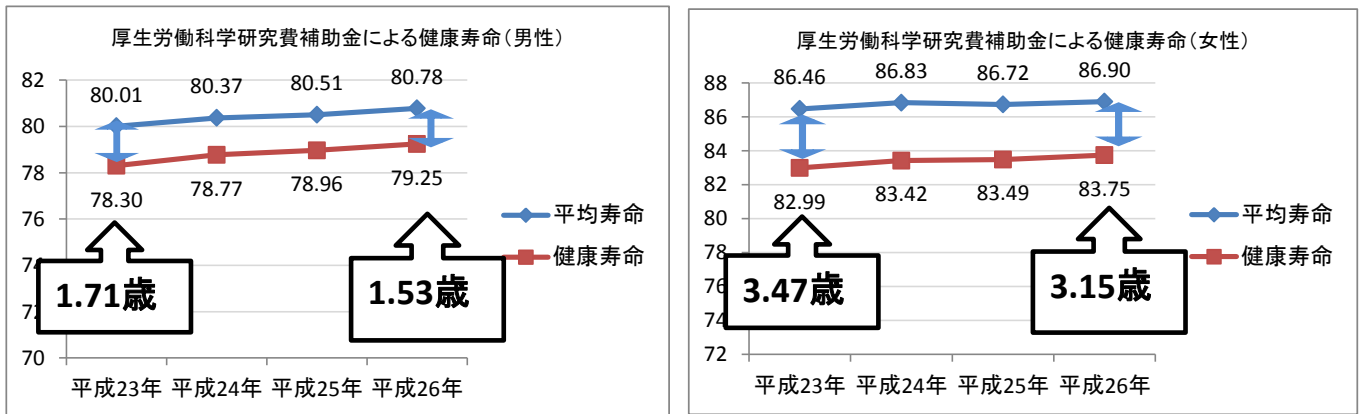
平成25年度から10年計画である「第2次いきいき瀬戸21 健康日本21瀬戸市計画」から5年が経過し、中間評価を実施しこの中間評価は第1次計画最終評価時に実施した市民アンケート(小学生・中学生・高校生・一般市民)による調査と、本中間評価より国保データベースシステム(KDB)による医療や健康に関する情報を活用し、本計画後期5年間の健康課題と対策を検討した。

## 本市の現状

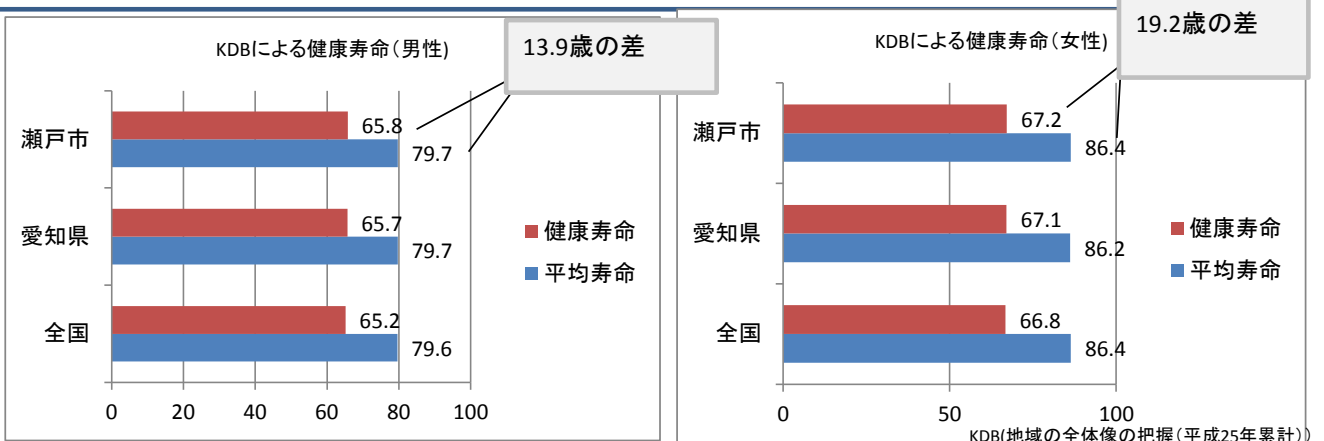
### 介護保険制度を利用した健康寿命(従来の方法) 要支援1・2、要介護1～5の認定者数を利用し算出



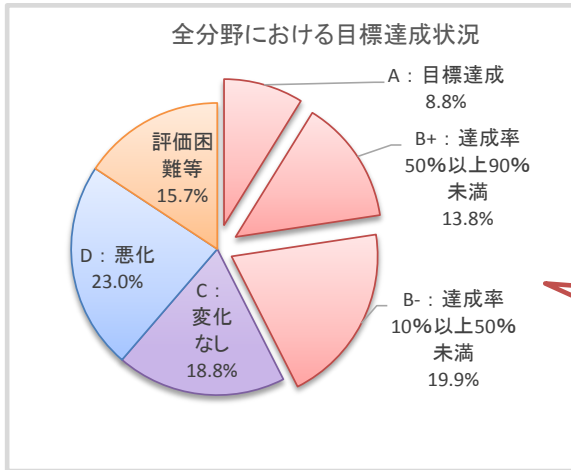
### 厚生労働科学研究費補助金による健康寿命(本中間評価より算出) 要介護2～5の認定者数を利用し算出



### KDB(国保データベースシステム)による健康寿命(本中間評価より掲載)



2. 本中間評価では健康寿命の延伸と健康格差の縮小を始めとした15分野と、前期重点課題2分野の項目を設定した。

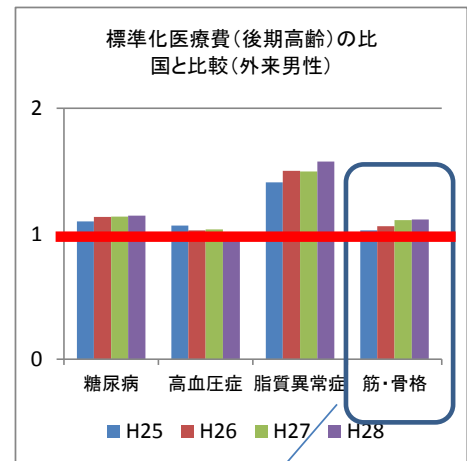
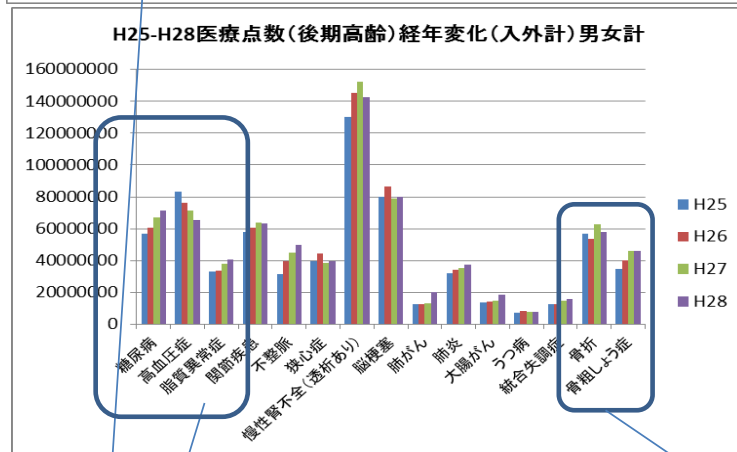
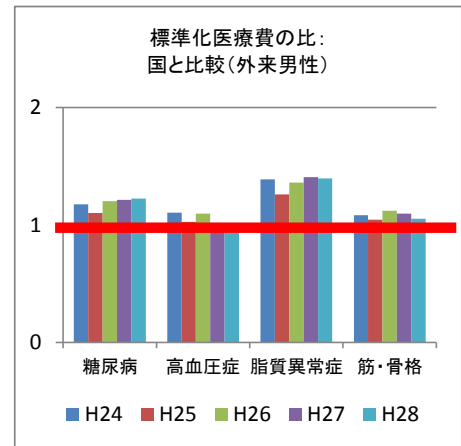
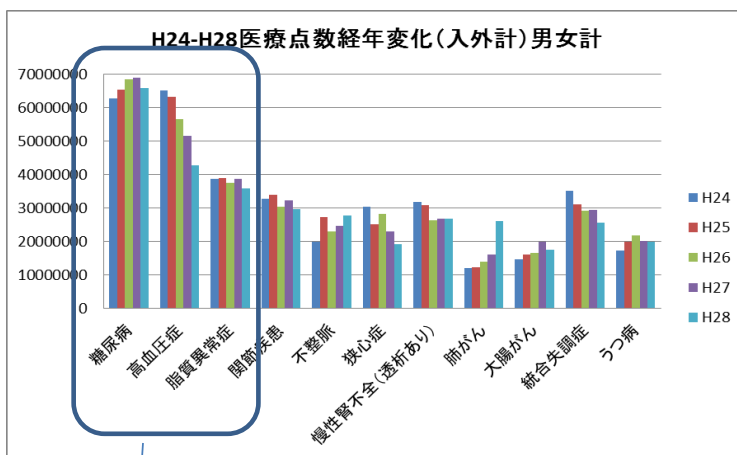


市民アンケートの内容は、食生活・運動・飲酒・喫煙・歯等の生活習慣や健康に関するもの。対象者は市内の小学校・中学校・高校及び、18～79歳の男女から無作為に抽出した約3,000名にアンケートを実施。

アンケートの回答による健康指標・行動指標等の全261指標中(再掲含む)、評価可能な220指標を基準値と比較し、その結果、全体で42.5%の指標で改善した。

特に改善がみられた分野は「休養・こころの健康」及び「歯・口腔の健康」であった。反対に改善が少なかった分野は「身体活動・運動」であった。

3. 上記の2の指標及び国民健康保険・後期高齢者医療の医療費動向から後期5年間の健康課題と対策を検討



**重点課題1**  
 糖尿病・脂質異常症・高血圧症に起因する脳血管疾患や虚血性心疾患の予防対策

後期高齢者医療の入院医療費では脳血管疾患や虚血性心疾患の医療費が高く、これらの要因には糖尿病や脂質異常症・高血圧症が影響している可能性がある。

**重点課題2**  
 ロコモティブシンドローム対策

「筋・骨格」(関節・骨・リウマチ等)及び「骨粗しょう症」が増加傾向にあり、健康寿命の延伸に向けた対策が必要である。